

冬季流行感染症の 病院内感染を防ぐために（お願い）

冬場は、インフルエンザや感染性胃腸炎などの感染症が流行する時期です。当院内でこれらの感染症が流行しないように、また当院を利用された方が感染症にかからないように、感染対策へのご協力をお願いいたします。

1. 外来受診について



- 咳、くしゃみ、のどの痛み、鼻水、発熱、だるさなどの症状がある方は、受付に申し出てください。
- 吐き気、嘔吐、下痢などの症状がある方は、受付に申し出てください。
- 1週間以内にインフルエンザと診断された方やインフルエンザ治療中の方は、受付に申し出てください。

2. 咳エチケットについて

- 咳やくしゃみ等の症状がある人は、マスクを着用して来院してください（マスクは正面玄関の自販機、2F 売店でも取り扱っています）。
- インフルエンザの流行状況によっては、院内でマスク着用をお願いすることがあります。インフルエンザ流行期に入院または来院される場合は、使い捨てマスクの準備をおすすめします。
- 冬季は、潜伏期間中のウイルス持ち込みを防ぐため、病院職員はマスクを着用して業務を行います。皆様のご理解をお願いいたします。



3. 手の消毒について

- 病院内の各所に消毒薬を配置しています。病院に入る時、またお帰りになる時は、手を消毒することをおすすめします。



4. 面会について

- 12月1日～3月31日の間は、お急ぎでない場合には、できるだけ面会をお控えください。
- 下のチェックリストに該当する方は、病原体をもちこむ可能性があります。入院患者さんを感染から守るため、面会をご遠慮ください（緊急の場合は、当該病棟看護師長にご相談ください）。

【面会者チェックリスト】

- 1週間以内に38.0℃以上の発熱があった人
- 1週間以内にインフルエンザと診断された人
- 現在、咳・くしゃみ・のどの痛み・鼻水・発熱・だるさなどの症状がある人
- 現在、吐き気・おう吐・下痢などの症状がある人
- 現在、同居家族にインフルエンザの患者がいる人
- 現在、同居家族に感染性胃腸炎の患者がいる人
- 12歳以下の人。
- 所属するクラスが学級閉鎖または学年閉鎖している場合（中学生・高校生・大学生などを含む）